

誰もが身近に本物の芸術がある環境を。



彫刻家 金 愛子

偶然が重なることで、
子どもたちの「今日の自分」
にしか作れないものが出来上がる。

～粘土のワークショップにて～



ヴァイオリニスト
福嶋 令奈

子どもたちが自分の中から出てくる
歌心を感じてくれたら。

～ヴァイオリンのレッスンにて～



ふるさとひょうご
寄附金については
こちらをご覧ください。



宝塚歌劇でも演奏しているヴァイオリニスト福嶋令奈さん。「音楽を楽しめるようになると歌心が自分の中から出てくる。人生の中に音楽があるって思ってくれたら、自分のよりどころにしてくれたらいいなあ、って思っています」。

県民の誰もが身近に本物の芸術文化に親しむことのできる環境を充実させたい。そんな想いでふるさとひょうご寄附金による新たな事業、「ひょうごつながろうアートプロジェクト」をスタートしました。若手芸術家による青少年へのアウトリーチ活動、動画での芸術文化活動を支援していきます。

「普段知っている顔でも実態形にしようと思いうとできない。見てるようで見てない。わかってるようでわかってない。そういうのを楽しんで、考えて感じて作るのはおもしろい。神戸で活動する彫刻家、金愛子さんは粘土のワークショップで子どもたちが作った作品を見ながら言う。「私も本気で楽しんで子どもたちと柔軟性を与え合う。それがワークショップのいいところかな」。

子どもたちに感じて、
楽しんでほしい。

ふるさとひょうご
寄附金
Project No.7

ひょうご
“つながろうアート”
応援プロジェクト

みなさまからの寄附金で県内の若手アーティストが学校等でワークショップやレッスンを行います。

兵庫県のこんな取組みを応援ください。